

# 大槌町立大槌北小学校

2014年 9月 29日

大西 歩実(香川大学大学院教育学研究科)  
北林 雅洋(香川大学教育学部)

## 【文献】

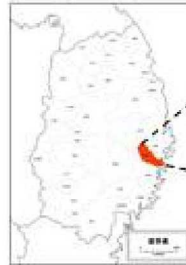
- (1) 「saveMLAK」博物館・美術館、図書館、文書館、公民館の被災・救援情報 <http://savemlak.jp/wiki/saveMLAK>  
(2) 「東日本大震災における学校の避難所運営：岩手県立大槌高等学校の事例」佐々木幸寿, 矢嶋昭雄, 福島正行(東京学芸大学)2012年2月29日  
[http://ir.u-gakugei.ac.jp/bitstream/2309/127849/1/18804306\\_63\\_05.pdf](http://ir.u-gakugei.ac.jp/bitstream/2309/127849/1/18804306_63_05.pdf)

## 【場所】

大槌湾から1.5Km、大槌川から50mの距離にある。

住所:岩手県上閉伊郡大槌町大槌  
第23地割9

※校舎は現在取り壊され、被災した他の学校と一緒に別の場所にある仮設の校舎で運営している。



赤い範囲:大槌町



緑の範囲:大槌北小学校

## 【東日本大震災による被害】

津波により校舎1階が浸水。(1)

## 【震災当日の様子】

地震発生後、児童・職員は500mほど離れた大槌高等学校に避難した。(2)

## 【調査して言えること】

学校の敷地の標高は5mほどで、海からは距離が1km以上離れているが、学校のすぐ側を大槌川が流れており地震の際は、川を遡上する津波に警戒が必要な場所である。

学校のすぐ裏側が山になっているが、登りやすそうな山ではない。学校横の道路を登った先にある大槌高等学校へ避難する方が安全である。大槌高等学校は標高が30m以上あり安全な避難場所である。



校舎があった場所(2014/3/19撮影)

※緑のネットに囲まれた場所に校舎が建っていた。  
手前の仮設の小屋が建っている場所は後庭であった。



学校横の道路(2014/3/19撮影)

※写真では見えないが、道路と山との間に大槌川が流れている。



学校裏の山と大槌高等学校への道路(2014/3/19撮影)